



ふくしま文化情報

《とうほう・みんなの文化センターと県内のイベント情報を掲載》



令和7年度 福島県歴史資料館収蔵資料展

江戸時代の出版文化



奥州二本松嶽温泉 (内池輝夫家文書 1957)

江戸時代の人々を魅了した出版物の魅力にせまる

板本や一枚刷りなどの出版物は同一製品がいくつも存在するため、一点物の古文書と比べると歴史資料としてはやや軽視されてきた。しかし、当時の人々がいかなる知識や情報を求めていたのか、あるいは福島県域がどのような地域として認識されていたのかなどを探ることができる。本展では、江戸時代の人々を魅了した出版物の魅力や歴史資料としての重要性を提示する。

同時開催するトピックス展「明治時代の白水阿弥陀堂」では、いわき市・白水阿弥陀堂の大規模修理の歴史から、明治期の文化財保護行政を背景とした先人の巧みな修理方法を紹介する。

開催中～7月21日(月・祝)

9:00～17:00(最終入館 16:30)

【会場】福島市・県歴史資料館

【料金】無料

【休日】月曜日(5/5、7/21をのぞく)、5/7

【主催】公益財団法人福島県文化振興財団

【問合せ】資料館 (024)534-9193

※4月27日(日)、5月24日(土)、6月29日(日)

各日とも午後1時30分から同館学芸員による展示解説会を開催



扶桑名所名物集 陸奥国 (庄司家寄託文書II 3552)



蚕養手引草 全 (佐藤健一家文書80)

○ Event Schedule

イベントスケジュール 5月

※本誌に掲載した情報は、すべて4月10日現在のものです。
主催者の都合により掲載内容が変更となる場合がございますので、ご了承ください。

音 楽

5/5(月・祝) **みんなのやまびこ音楽会**
所 伊達市・りょうぜんこどもの村 **時** 10:30
¥ 入園料として高校生以上600円、3歳以上中学生以下300円
出 風信子【ヒヤシンス】(フォークソング、福島市在住)
Norico(スティーレルバン、福島市在住)
U and A(ポップス、双葉郡在住)
問 こどもの村(024)589-2211
※県内で活動する3組の音楽ユニットが野外ステージで演奏する。悪天時は中止。

5/6(火・振休)
いわき濤笛会(とうてきかい)
山口流篠笛コンサート
第13回演奏会 竹の遠音 一雲雀一
所 いわき市立草野心平記念文学館 **時** 14:00 **¥** 無料(要申込)
出 いわき濤笛会(篠笛)、梅桃桜会いわき(同)
曲 うらら、雲外、響恩天ほか **問** 文学館(0246)83-0005
※定員先着70名。電話にて申込受付。

5/6(火・振休)
山木屋太鼓25周年公演 故郷
所 福島市、キョウワグループ・テルサホール
時 14:00 **¥** (前売)2,500円 (当日)2,900円
※未就学児ひざ上鑑賞無料
問 事務局(080)2780-1038
※2001(平成13)年に結成し、川俣町を拠点に、曲の創作や演奏活動を行っている和太鼓団体。ゲストに和太鼓・篠笛奏者の山中裕貴を迎える。

5/10(土)
Takano & Miyuki フルートとピアノで「日本の歌百選を中心に」

5/17(土)
いわきハルモニアオルケスタ 10周年記念演奏会
“sustainable(サスティナブル)”をテーマに、吹奏楽の未来を考える
所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス **時** 14:00 **¥** 中学生以上500円、小学生以下無料
出 いわきハルモニアオルケスタ(吹奏楽)、好間高等学校フラダンス部(フラダンス)
ハーラウラウラーナニ(同)、いわき市内小学生有志(吹奏楽ほか)、バンドになったシーザーサラダ(バンド)
曲 交響的詩曲 走れメロス、勇気のトビラ、宝島ほか **問** 事務局(090)8787-1554
※2014(平成26)年に発足したいわき市の社会人吹奏楽団。演奏会の開催やコンクール出場のほか、近年は楽器の演奏経験がない小学生向けのトランペット教室を開くなど、演奏家の育成や吹奏楽愛好者の裾野を広げる活動に力を入れている。今回は、音楽を通した「サスティナブル」の表現として、小学生有志との合奏やフラダンスチームとの共演など、世代やジャンルを超えたステージを披露する。

《スケジュール内の記号について》
チケット販売中 県文化センター管理事務所でチケット販売中
緑がいの割引 **緑がいの無料** 手帳など証明書類を所持参、主催者へ要問合せ
所 開催場所 **出** 出演予定者
時 開演・開始時間 **曲** 演奏予定曲
休 休館日 **講** 講師予定者
¥ 料金 **題** 演題
※(前売)の記載がない場合、当日券の料金(税込み) **問** お問い合わせ

所 福島市・コラッセふくしま **時** 12:30 **¥** 無料
曲 マシコタツロウ「ハナミズキ」、古関裕而「黒百合の歌」ほか
問 コラッセふくしま内にぎわいイベント受付(024)525-4098
※全国各地で演奏活動を行うフルートとピアノのアンサンブル。

5/10(土)
泉谷しげる 全カライブ90分! 喜多方
所 喜多方市・喜多方プラザ文化センター **時** 16:00
¥ (前売)6,500円 (当日)7,000円 ※入場整理番号付
問 喜多方シティエフエム(0241)22-1002
※ドラムに板谷達也を迎える。未就学児入場不可。

5/22(木)
古関メロディーを歌おう!
所 福島市古関裕而記念館 **時** 10:30
¥ 入館料として高校生以上300円、小・中学生100円
出 相原節子(ハモンドオルガン) **問** 記念館(024)531-3012
※定員当日先着80名。古関裕而の楽曲を来場者で歌う。未就学児入場不可。

5/23(金)
ノエ・乾 ヴァイオリン・リサイタル ～世界を翔る「福島の魂」～
所 郡山市・郡山公会堂 **時** 18:30
¥ (前売)一般・大学生3,800円 (当日)一般・大学生4,000円
小・中学・高校生無料
出 ノエ・乾(ヴァイオリン)、本山 乃弘(ピアノ)
曲 プーランク「ヴァイオリン・ソナタ」、フォーレ「子守歌」ほか
問 郡山チャンネル国際音楽祭実行委員会(024)911-9115
※郡山チャンネル国際音楽祭2025プログラムのひとつ。棚倉町出身の父を持ち、2005年シベリウス国際コンクール特別賞ほか多くの受賞歴を持つヴァイオリニスト、ノエ・乾とピアニストの本山乃弘が出演。未就学児入場不可。

5/24(土)
福島メール・ハーモニー創立50周年記念演奏会
所 ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂) **時** 14:00 **¥** 無料
出 伊藤勲(指揮)、富山律子(ピアノ)
曲 カッチーニ「アヴェ・マリア」、中島みゆき「糸」
千原英喜「みやこわすれ」ほか
問 事務局(024)576-4193
※PTA活動の一環としてはじまり、県内外で活動する女声合唱団。コロナの影響で中断していた5年に一度の演奏会を、団の創立50周年を記念して10年ぶりに開催する。

5/25(日)
アマデウス室内管弦楽団 第38回定期演奏会
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 14:00 **¥** 一般・大学生1,000円、高校生以下500円
出 高橋裕之(指揮)、アマデウス室内管弦楽団(管弦楽)
曲 モーツァルト「交響曲第16番ハ長調 KV128」
ハッセ「歌劇『ルッジェーロ』序曲」ほか
問 事務局(090)8923-4906
※モーツァルト作品を中心としたレパートリーを持ち、2管編成のオーケストラとして活動する郡山市の管弦楽団。未就学児入場不可。

5/30(金)
まほらミュージックプロジェクト Quartet Donka・馬場春英 弦楽&ピアノコンサート
所 三春町・三春交流館「まほら」 **時** 18:30 **¥** 無料
出 Quartet Donka(弦楽)、馬場春英(ピアノ)
問 まほら(0247)62-3837
※三春町出身のピアニスト・馬場春英さんと、郡山市出身のヴァイオリニスト・菅野千怜さんらによる弦楽四重奏団 Quartet Donka(カルテットドンカ)のコンサート。

5/30(金)
イオンモールいわき小名浜×いわきアリオス 共同企画 アフタヌーンコンサート
所 いわき市・イオンモールいわき小名浜
時 16:00 **¥** 無料 **出** 江尻ひとみ(ピアノ)、山崎雅子(同)
問 アリオスチケットセンター(0246)22-5800
※2021(令和3)年のコンサートを皮切りに行われている共同企画。当日配布の広報紙「アリオスペーパー」提示により協力飲食店で受けられる「来場者特典」もある。

5/31(土)
憩いのひととき
所 福島市古関裕而記念館 **時** 14:00
¥ 入館料として高校生以上300円、小・中学生100円
出 Le Rose(レ・ローゼ、声楽アンサンブルとピアノ)
問 記念館(024)531-3012
※定員80名。5月17日(土)午前9時から電話にて申込受付。未就学児入場不可。

舞 台

5/3(土・祝)
第46回会津若松市子どもまつり 童劇プーポ定期公演「おおかみがやってきた」
所 会津若松市文化センター **時** 10:45、13:00

¥ 無料 **問** 実行委員会事務局(0242)39-1304
※1957(昭和32)年に会津若松市で結成された児童劇団。鶴ヶ城公園周辺で開催されるイベント「第46回子どもまつり」の企画。

5/3(土・祝)
郡山高等学校チアダンス部 第10回定期公演 「Step into The Spotlight」
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 17:00 **¥** 500円
問 郡山高校(024)951-0215
※全国大会「Dance Drill Winter Cup 2025」に東北代表として出場した実績をもつチアダンス部のステージ。



5/10(土)
立川志らくと柳家花緑 part 2
所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス **時** 13:30
¥ 《全席指定》(前売)4,000円 (当日)4,500円
※車いす席はアリオスケットセンター(0246)22-5800へ要問合せ
問 立川企画(03)6452-5901
※30年来の同志による落語の二人会。未就学児入場不可。

5/12(月)
愛宕神祭礼奉納歌舞伎
所 檜枝岐村・檜枝岐の舞台 **時** 19:00 **¥** 無料
問 尾瀬檜枝岐温泉観光協会(0241)75-2432
※280年以上伝承される「檜枝岐歌舞伎」の春の祭礼の公演。国指定重要有形民俗文化財「檜枝岐の舞台」で、檜枝岐村民でつくる伝承団体「千葉之家花駒座」が上演。

5/14(水)
第201回 例会 こおりやま落語愛好会 古今亭文菊 独演会
所 郡山市・郡山中央公民館 **時** 18:30
¥ (前売)2,000円 (当日)2,500円 **問** 事務局(090)2844-0929
※郡山市在住の落語愛好者の有志で結成された団体が主催。未就学児入場不可。

自主上映

5/3(土・祝)
子ども映画会
所 郡山市・アサカ理研 郡山中央図書館
時 10:00、14:00 **¥** 無料 **問** 図書館(024)923-6616
※定員当日先着100名。上映作品は、『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』10巻より「その名は『銭天堂』」(54分)。

5/31(土)
田村市文化センター自主文化事業 まちそわシネマ Vol.1
所 田村市文化センター **時** 14:00、18:00
¥ 一般・大学生500円、高校生以下300円
問 文化センター(0247)82-5030
※上映作品は、親友を失った女性を中心に思いがけない出会いが連鎖していく様子を描いた群像劇「アイミタガイ」(2024年、105分)。小学校低学年以下は保護者の同伴が必要。バリアフリー 日本語字幕付上映。



展 示

開催中～ 5/6(火・振休) 復興祈念展

一人びとのいとなみの継承ー

所 白河市・県文化財センター白河館まほろん

時 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(4/28、5/5をのぞく)、4/30

¥ 無料 **問** まほろん(0248)21-0700

※双葉町・大熊町にある中間貯蔵施設内の遺跡と、浪江町・富岡町における、復興道路の建設に伴う遺跡調査の成果を、同館の収蔵資料及び各町所蔵資料から紹介。



開催中～ 5/11(日) 特別展「海の生命(いのち)」

所 いわき市石炭・化石館ほるる

時 9:00～17:00(最終入館16:30) **休** 会期中無休

¥ 一般660円、中学・高校・大学生440円、小学生330円

問 ほるる(0246)42-3155

※生命の誕生から現在までの生物進化の歴史について、シーラカンスやモササウルスなどの海の生物の化石や剥製、模型などを展示し紹介する。

開催中～ 5/11(日) 収蔵作品展 キタビ☆クロニクル

所 喜多方市美術館 **時** 10:00～18:00(最終入館17:30)

休 水曜日 **¥** 一般・大学生300円、小・中学・高校生100円

65歳以上75歳未満150円、75歳以上無料

問 美術館(0241)23-0404

※地元若手作家の活動を支援する目的で設立された喜多方市美術館の30周年を記念した企画展。落成を記念して開催された「喜多方市所蔵作品展」に展示され、同館のコレクションとなった作品などを展示する。5月5日(月・祝)午後2時からは、同館学芸員による展示解説もある。

開催中～ 5/11(日) 第39回 緑の写真展

所 伊達市梁川美術館 **時** 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 4/28、4/30、5/7 **¥** 無料 **問** 美術館(024)527-2656

※「第39回ふくしま緑の写真コンクール」において入賞・入選した緑に関する写真作品52点を展示。5月4日(日・祝)・5日(月・祝)には館内全体で会話音量を気にせず鑑賞できる「おしゃべり美術館」を開催。

注目 開催中～ 6/29(日) ととのう展～ヘルスケアにつながる美術館～

「ととのう」をキーワードに、ヘルスケアの視点からアート鑑賞を提案

所 北塩原村・諸橋近代美術館 **時** 9:30～17:00(最終入館16:30) **休** 会期中無休

¥ 一般1,300円、高校・大学生500円、中学生以下無料 **問** 美術館(0241)37-1088

※アートを通したヘルスケアの可能性に着目し、新しい美術館活用を提案する展覧会。美術鑑賞がもたらす健康効果の実証実験紹介のほか、アルフレッド・シスレーやサルバドール・ダリの作品を引用し、印象派作品などにみられる自然への眼差しや、ダンテやダリが想像した天国世界を紹介する。また、タナカカツキの『マンガ サ道』の原画なども特別展示し、アートにより心と体が「ととのう」体験を提供する。5月18日(日)午前10時30分からはZoom講座「博物館浴®研究の最前線ー鑑賞体験が健康・ウェルビーイングにもたらす効果ー」も開催。(定員先着80名、要申込、申込方法等詳細は要問合せ)



タナカカツキ
《サウ画「ととのったーつ」》
©タナカカツキ 2022

開催中～ 5/25(日) けんぱくの宝ーしあわせのありかたー

所 会津若松市・県立博物館

時 9:30～17:00(観覧チケット販売は16:30まで)

休 月曜日(5/5をのぞく)、5/7

¥ 一般・大学生400円、高校生以下無料

問 博物館(0242)28-6000

※幸福をはこぶ宝船や、夫婦愛と長寿を願う高砂、家々を回り新年を言祝ぐ萬歳など、しあわせをもたらすものたちをモチーフにした絵画や工芸品などを展示する。

開催中～ 6/1(日) 川俣美術 百周年展

所 川俣町羽山の森美術館

時 10:00～16:00

休 月曜日(5/5をのぞく)、5/7

¥ 無料 **問** 美術館(024)566-3367

※1925(大正14)年に発足した川俣町の美術

団体の創立100周年記念展。詳細は裏表紙

インタビューコーナー参照。



開催中～ 6/8(日) 谷川俊太郎 絵本★百貨展

所 いわき市立美術館

時 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(4/28、5/5をのぞく)、5/7

¥ 一般1,000円、高校・大学生600円、小・中学生400円

問 美術館(0246)25-1111

※1960年代以降、さまざまな絵描きや写真家と200冊に及ぶ絵本を制作してきた詩人・谷川俊太郎。その中から約20冊の絵本を取り上げ、原画や映像、朗読や音、巨大な絵巻や書き下ろしのインスタレーション作品などを展示する。

開催中～ 6/22(日) 武井武雄展 幻想の世界へようこそ

所 郡山市立美術館 **時** 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(5/5をのぞく)、5/7

¥ 一般800円、高校・大学生・65歳以上500円、中学生以下無料

問 美術館(024)956-2200

※大正から昭和にかけて活躍したマルチ・アーティスト、武井武雄の童画や版画、本、玩具など約300点を展示。5月10日(土)・31日(土)いずれも午後2時からは同館職員によるギャラリートーク、6月には美術講座と朗読音楽会もある。

開催中～ 6/29(日) 令和6年度発掘速報展

所 いわき市考古資料館 **時** 9:00～17:00(最終入館16:30)

休 5/20、6/17 **¥** 無料 **問** 資料館(0246)43-0391

※令和6年度に発掘された、平城跡、古身遺跡など、いわき市内の遺跡の出土品を展示する。5月11日(日)午後3時、6月15日(日)午後2時からは、同館職員による展示解説会もある(定員当日先着30名)。

開催中～ 6/29(日) 安積開拓・安積疏水のアレコレ まめ知識

所 郡山市開成館

時 10:00～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(5/5をのぞく)

¥ 一般200円、高校・大学生100円、中学生以下・65歳以上無料

問 郡山市開成館(024)923-2157

※安積開拓・安積疏水に関する様々な物事や人物を紹介するパネル展示。

開催中～ 7/2(水) 長田弘の“本と言葉”展～長田弘没後10年～

所 福島市・県立図書館

時 (平日)9:30～19:00 (土・日・祝日)9:30～17:30

休 月曜日(5/5をのぞく)、5/1、5/7、6/5 **¥** 無料

問 図書館(024)535-3218

※同館所蔵の福島市出身の詩人・長田弘の蔵書と著作からなる長田弘文庫を、本にまつわるエピソードとともに展示する。

開催中～ 7/6(日) ぐるぐるまわってみる

所 猪苗代町・はじまりの美術館 **時** 10:00～18:00

休 火曜日(4/29、5/6をのぞく)、4/30、5/7

¥ 一般・大学生500円、高校生以下無料

問 美術館(0242)62-3454

※様々な「まわる」ことに注目した企画展。出展作家は、アグネス吉井、EMI、タムラサトルほか3名。体験型の作品も展示。会期中、自身の好きな「まわる」ことを会場に残すワークショップ「みんなの『まわる』」を随時開催。5月10日(土)、6月21日(土)には同館職員と話しながら展示を観覧する「まわってみる展をまわる鑑賞ツアー」もある。

開催中～ 7/21(月・祝) 収蔵資料展「江戸時代の出版文化」

所 福島市・県歴史資料館

注目 4/26(土)～6/29(日) ボーダーなき世界をー福島県立博物館とWell-beingー

ミュージアム×アートで社会に存在する様々なボーダーを乗り越える

所 会津若松市・県立博物館 **時** 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(5/5をのぞく)、5/7 **¥** 一般・大学生1,000円、高校生以下無料 **問** 博物館(0242)28-6000

※性、年齢、障がいの有無による差、経済格差、地域格差など、社会の様々なボーダーにより生まれる課題を克服するため、同館では現代美術家や映像作家などと連携し、これまで様々なワークショップに取り組んできた。本展ではその活動の一例として、会津支援学校の生徒たちが同館の展示の好きなところを思い思いに表現した「ヤベアベ学級との12月」、日本や世界の音に合わせ身体で表現することを楽しんだ「感じるリズム 見つけるカラダ」などの事例を映像や造形作品で紹介し、目指すべきボーダーなき世界を考える。



時 9:00～17:00(最終入館16:30) 休 月曜日(5/5、7/21をのぞく)、5/7

¥ 無料 **問** 資料館(024)534-9193

※詳細は表紙参照。

開催中～ 8/24(日) 磐城平藩と勿来関

所 いわき市勿来関文学歴史館

時 9:00～17:00(最終入館16:30)

休 5/21、6/18、7/16、8/20

¥ 一般330円、中学・高校・大学生220円、小学生170円

問 歴史館(0246)65-6166

※磐城平藩と勿来関の関わりや、磐城平城にまつわる最新の発掘調査の成果などを展示する。5月11日(日)、6月8日(日)、7月13日(日)、8月10日(日)いずれも午後2時からは、同館職員によるギャラリートークもある。

開催中～ 11/30(日) 常設展 31期

「いきものたちとみる大山芸術」

所 二本松市・大山忠作美術館

時 9:30～17:00(最終入館16:30)

休 月曜日(5/5、7/21、8/11、9/15、10/13、11/3、11/24をのぞく) 5/7、7/22、8/12、9/16、10/14、11/4、11/25

¥ 一般410円、高校生以下210円

問 美術館(0243)24-1217

※二本松市出身の日本画家・大山忠作の代表的な「鯉」の作品をはじめ、鳥や猫、小動物や伝説上の神獣まで、「いきもの」が描かれた作品を展示する。

4/26(土)～7/6(日) 野馬追トラベラーズ

ー野馬追と旅・観光ー

所 南相馬市博物館

時 9:00～16:45(最終入館16:00)

休 月曜日(5/5、5/26をのぞく)、5/7、5/27

¥ 一般・大学生400円、高校生200円、小・中学生100円

問 博物館(0244)23-6421

※江戸時代から続く伝統行事「野馬追」に関する絵図や古文書、戦前の絵はがきや駅弁ラベルなどを展示し、「旅」と「観光」の視点から、人びとが野馬追をどのように見て、楽しんでいたのかについて紹介する。5月11日(日)、6月15日(日)いずれも午後1時30分からは、同館学芸員による展示解説会もある。



5/4(日・祝)～5/25(日)
第7回 矢吹町書道愛好会展
所 矢吹町・ふるさとの森芸術村
時 9:00～17:00(初日は13:00から、最終日は15:00まで)
休 月曜日 無料 芸術村(0248)42-4506
※会員の作品約35点を展示する。

5/11(日)～6/22(日)
心平誕生月の展示 カエルのタマゴランタン
所 いわき市草野心平生家
時 9:00～16:00(最終入館15:45) 休 月曜日
無料 問 いわき市立草野心平記念文学館(0246)83-0005
※「蛙の詩人」とよばれた草野心平の誕生月にあたり、いわき市小川地域の小学生が作成した蛙型のタマゴランタンを展示する。

5/17(土)～8/17(日) 観がい者無料
いわきの民話と伝承文学
所 いわき市暮らしの伝承郷
時 9:00～17:00(最終入園16:30) 休 火曜日
料 一般340円、高校・大学生220円、小・中学生170円
問 伝承郷(0246)29-2230
※いわき市内各地に語り継がれている民話や伝説について、その分布とともに紹介する。5月24日(土)、6月7日(土)、6月21日(土)、7月5日(土)、7月19日(土)、8月9日(土)いずれも午後1時30分からは、同園職員による展示解説会もある。

県外
開催中～5/18(日) 観がい者無料
驚異の部屋～博物館の珍品・お宝大集合～
所 岩手県立博物館 時 9:30～16:30(最終入館16:00)
休 月曜日(5/5をのぞく)、5/7
料 一般350円、大学生160円、高校生以下無料
問 博物館(019)661-2831
※同館に収蔵されている資料のうち、これまで展示されてこなかった石器類や昆虫標本、享保大判金や呪術に使用された道具などをジャンルにとらわれない手法で展示する。

開催中～6/29(日) 観がい者無料
アーツ・アンド・クラフツとデザイン
ウィリアム・モリスから
フランク・ロイド・ライトまで
所 茨城県近代美術館 時 9:30～17:00(最終入場16:30)
休 月曜日(5/5をのぞく)、5/7
料 一般・大学生1,360円、高校生1,130円、小・中学生550円
70歳以上680円
問 美術館(029)243-5111
※テキスタイルや壁紙、家具、工芸品、宝飾品、書籍など約170点を展示し、モダン・デザインの源流となったアーツ・アンド・クラフツ運動の魅力と展開を紹介する。

開催中～7/21(月・祝) 観がい者無料
仙台の遺跡めぐり 仙台むかしのモノづくり
所 宮城県・地底の森ミュージアム(仙台市富沢遺跡保存館)
時 9:00～16:45(最終入館16:15)
休 月曜日(5/5、7/21をのぞく)、4/30、5/7、5/22、6/26
料 一般・大学生460円、高校生230円、小・中学生110円

問 ミュージアム(022)246-9153
※仙台市の山田上ノ台遺跡や中在家南遺跡から出土した石器や土器、木製品などを通して、仙台のかつてのモノづくりについて紹介する。

講演・講座
5/11(日)
遺跡報告会
所 いわき市考古資料館 時 13:30 料 無料
講 同館職員 問 資料館(0246)43-0391
※定員当日先着30名。「令和6年度発掘速報展」関連イベント。
令和6年度に調査したいわき市の各遺跡に関する報告。

5/17(土)
美術講座 美術放談1「幸せになるために」
所 会津若松市・県立博物館 時 13:30 料 無料
講 小林めぐみ(同館学芸員)、塚本麻衣子(同)、原惠理子(同)
川延安直(同館専門員)
問 博物館(0242)28-6000
※定員当日先着200名。美術分野の学芸員4名が様々な美術に込められた幸せへの願いを読み解く。

5/17(土)
史料をよむ「戦国時代の相馬一族と南奥世界1」
所 南相馬市博物館 時 13:30 料 無料(要申込)
講 岡田清一(東北福祉大学名誉教授)
問 博物館(0244)23-6421
※定員先着40名(要申込)。戦国期(16世紀前半)の武将、相馬顕胤・盛胤父子と伊達植宗・晴宗父子の関係、特に伊達天文の乱とその後について、南奥羽の情勢とともに史料を読みとく。電話にて申込受付。

その他
4/26(土)～5/6(火・振休)
まほろんゴールデンウィーク特別体験
所 白河市・県文化財センター白河館まほろん
時 各日とも9:30 休 4/30
料 無料(一部有料体験メニューあり)
問 まほろん(0248)21-0700
※火おこし、弓矢など昔の暮らしを体感できる体験メニューや、浪江町の赤坂D遺跡から出土した瓦をモデルにしたメモスタン
ドづくり、縄文土器に模様をつける縄「縄文原体」のストラッ
プづくり、勾玉づくりなどの各種工作、バックヤードツアーなど
様々な体験ができる。

5/4(日・祝)～5/6(火・振休)
舞台技術基礎講座「はじめの一步」vol.18
～リアルに公演やってみます編 part.11～
所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス
時 4日・5日13:00、6日10:00
料 一般・大学生3,000円、高校生1,500円、中学生1,000円
講 同館舞台スタッフ
問 アリオスチケットセンター(0246)22-5800
※定員先着30名(要申込)。舞台、照明、音響などの「裏方」
と呼ばれる舞台スタッフの技術を学び、バンドのライブを作り
上げる。中学生以上、原則として3日間参加可能な方が対象。
電話または窓口にて申込受付。

令和7年度上半期の主な事業ラインナップ

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)／福島県歴史資料館

＜主催事業＞
アートマネジメント人材育成モデル事業
「はまなかあいつで『四季』全楽章を踊る」
＜会場＞
7月27日(日) 白河市・白河文化交流館コミネス
8月 3日(日) 南相馬市民文化会館ゆめはっと
8月 7日(木) 三春町・三春交流館「まほら」
8月24日(日) 会津若松市・會津雅堂

＜料金＞一般・大学生1,000円、高校生以下無料
※6月上旬頃チケット販売開始予定

＜キャスト＞
多田淳之介(演出家)、森下真樹(振付家・ダンサー)ほか

ヴィジュアルディ『四季』を使って、ダンスと演劇を融合させたステージを行います。本公演は、舞台上に客席がある珍しいスタイル。躍動感あふれるパフォーマンスを至近距離で見られるまたとない機会です!!地元小学生とコンテンポラリーダンサーとのコラボステージも開催予定。

7月～8月

＜主催事業＞
キッズシアター ※学校向け公演
＜会場＞県内市町 ＜出演＞空 観
＜演目＞ハベル～不思議な国のモト～
沖縄の国際演劇祭で注目を浴びた作品が、沖縄県外で初上演。俳優が即興的に口にする「でたらめ言葉(ジブリッシュ)」と三線の生演奏で物語が展開します。表情や身振り手振りなどの多様な表現で、子ども達が想像力を働かせながら、舞台芸術に親しめる機会をお届け。ジブリッシュのワークショップも行います。

6月～7月

9月～1月

昨年度の様子
(出演・演目は異なる)

【収蔵資料展】
「江戸時代の出版文化」
＜会場＞県歴史資料館展示室

県歴史資料館が収蔵する、江戸時代の板本や一枚刷りなどの出版物をご紹介します。
江戸時代の人々を魅了した出版物の魅力や歴史資料としての重要性にご注目ください。
いわき市・白水阿弥陀堂の大規模修理の歴史を紹介するトピックス展も同時開催します。(詳細は表紙参照)

開催中～7/21(月・祝)



県歴史資料館が収蔵する、江戸時代の板本や一枚刷りなどの出版物をご紹介します。
江戸時代の人々を魅了した出版物の魅力や歴史資料としての重要性にご注目ください。
いわき市・白水阿弥陀堂の大規模修理の歴史を紹介するトピックス展も同時開催します。(詳細は表紙参照)

【収蔵資料展】
水郡線応援
「東白川郡の古文書 - 鮫川村編 -」
＜会場＞県歴史資料館展示室

水郡線活性化を応援するため、収蔵資料のうち水郡線沿線地域ゆかりの古文書を紹介するシリーズ展示。

8/9(土)～11/24(月・振休)

8/4(月)・8/19(火)
10/22(水)・11/5(水)

古文書講座
＜会場＞福島市・アクティブシニアセンター・アオウゼ 大活動室

歴史資料の利用促進を図るため、古文書講座を開催します。県北地方の古文書を素材として、江戸時代の武士をテーマとした連続講座を実施します。全4回参加可能な方が対象です。(6月頃募集開始予定)

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター) 管理事務所で販売中のチケット

当事務所の窓口では、以下のチケットを販売しています。管理事務所へのアクセスは、文化センター公式YouTubeチャンネルでルート案内動画を公開しています。お気軽にお立ち寄りください。

○所在地 〒960-8115 福島県福島市山下町1-25
○営業時間 月曜～金曜 9:00～17:00
○定休日 土曜・日曜・祝日と年末年始(12/28～1/4)
○連絡先 TEL(024)534-9191、FAX(024)536-1926



イベント名	会場	開催日時	料金(前売)	お問合せ
エノモティアード vol.5	二本松市コンサートホール	6月1日(日)13:30	3,000円	事務局(080)1834-7539
フィール・ウインド・オーケストラ 第24回定期演奏会	福島市・ふくしん夢の音楽堂 (福島市音楽堂)	6月8日(日)14:00	1,000円	事務局(090)7526-3747
ふくしま太鼓フェスティバル2025	郡山市・郡山ユラックス熱海	6月15日(日)10:00	2,500円	福島民報社事業局(024)531-4171



スポットライト

— 今、注目のイベント情報

川俣美術 百周年展

絹織物のまちで育まれた 画家たちの歴史を感じる展覧会

#8 川俣美術 会長 菅野 浪男さん

川俣美術は、川俣町出身の洋画家・丸樹長三郎を中心に、1925(大正14)年に創立した美術団体である。会は「コバルト社」の団体名で活動を始め、翌年に第1回展覧会を開催。1948(昭和23)年に「ラ・パレット」、1979(昭和54)年に「川俣美術」に改称。町ゆかりの画家たちが会を発展させ、創立100周年を迎えた。

町にすぐれた画家たちが生まれた背景には、川俣シルクで知られるように、絹織物業が栄えた川俣固有の風土がある。昔から絹織物が国内外で販売されて町が潤い、人や物の往来で様々な文化が舞い込んだことで、芸術活動が盛んになった。

会長の菅野浪男さんは、酪農業を営みながら絵の制作に励み、会員たちと切磋琢磨してきた。創設者である丸樹とは中学生の時に出会い、影響を受けたという。「今、会の長い歴史を支えてきた皆さんと一緒に過ごした記憶を語れるのは私だけ」と思いをかみしめる。

2010(平成22)年に開館した町内初の美術館「羽山の森美術館」設立の際には、菅野



自身が育てていた牛を描いた作品
「家族」(1983年)の前に立つ菅野さん

さんをはじめ会員が作品やコレクションを寄贈。現在では、川俣ゆかりの作家の作品を約700点収蔵する文化の拠点となり、会は町の美術文化の発展にも貢献してきた。「川俣美術は町内の愛好団体にとどまらない活動をしてきた」と菅野さんは語る。

本展では、「コバルト社」から「ラ・パレット」、そして「川俣美術」までの各時代をそれぞれ「黎明期」「躍動期」「多彩期」と位置づけ、創立メンバーから現会員までの絵画など約70点を展示。これまでの歴史を振り返ることができる。



「黎明期」の展示エリアには、丸樹長三郎をはじめとする創立メンバーの作品が並ぶ

川俣美術 百周年展

日時：開催中～6月1日(日)

10:00～16:00

休日：月曜日(5/5をのぞく)、5/7

会場：川俣町羽山の森美術館

料金：無料

問合せ：美術館(024)566-3367



公益財団法人

福島県文化振興財団

【問合せ先】〒960-8115 福島県福島市山下町1-25

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所

TEL(024)534-9191

FAX(024)536-1926